

総合医療情報システムの概要

平成14年2月1日

市立病院

八尾市立病院移転新築基本構想における基本理念

- 1 患者サービスに徹し、市民に信頼され親しまれる病院
- 2 地域医療支援病院としての急性期医療・救急医療の充実
- 3 地域の医療機関との機能分担・連携強化による圏域内での医療完結
- 4 将来の医療水準・ニーズの変化に対応し得る病院
- 5 高齢化社会に対応した保健・医療・福祉サービス推進支援体制の確立
- 6 健全な経営体制を確保できる病院

病院情報システムの導入について

1. 基本的な考え方

新病院の医療情報システムは、現病院における医療の継続性を確保するとともに、新病院で計画された各診療部門の効率的かつ効果的な運営に資することを基本とし、2次医療圏における地域の中核病院をサポートします。

情報システムのオープン化（患者サービスの向上、病病/病診連携の実現、保健・福祉・医療サービスの推進支援体制の確立）を目指すこと。

救急医療機能（小児救急医療体制、ICUなど）の充実を図ること。

臨床研修機能（医療スタッフの資質向上など）の充実を図ること。

2. 八尾市のIT政策との関係

- (1) 電子カルテ、ギガビットネットワーク、ICカードや電子認証など、さまざまな先進的技術を活用し、電子自治体のモデルとなる「総合医療情報システム」を構築する。
- (2) 保健・福祉・医療・救急（消防）などと連携した「総合行政ネットワーク」の基幹システムとして明確に位置づける。
- (3) 電子カルテをはじめとする医療情報システムを導入し、地域の中核病院として、官民一体で「地域医療ネットワーク」を構築する。

3. 目標

これからの医療は、良質な医療サービスの効率的な提供に向け、医療資源の適正利用、医療の経済効果の促進、医療情報の開示・共有化等が求められています。

このため、新病院においては、移転新築構想に示された基本理念の下で、近年の医療を取り巻く社会的環境変化やIT化の急速な進展に対応するとともに、(1)患者サービスの向上、(2)医療の質的向上、(3)病院経営の効率化を図るため、電子カルテを基幹とした総合的な医療情報システムを構築します。

(1) 患者サービスの向上

患者情報管理

【具体例】 医療情報の電子化・一元化・共有化を図り、既往病歴等の的確な把握と医療の継続性を確保し、アレルギー、副作用、重複検査などから患者を守る。

診療予約管理

【具体例】 患者受付・予約管理システムなどを活用し、診察時間案内や診察順番案内を行い、早朝受診の解消や診療待ち時間の短縮、駐車場・待合室の混雑緩和を図る。

診療情報開示

【具体例】 電子カルテの記録方法の統一と項目等の標準化を行い、チーム医療の推進を図る。患者中心・わかり易い医療を主眼とし、ビジュアルな検査結果・画像の提供等や診療録開示に対応し、インフォームド・コンセントの充実を図る。

相談業務整備

【具体例】 栄養指導支援システムや薬歴管理（服薬指導）システムなどを導入し、各患者相談・指導業務を充実し、患者サービスに努める。

健診部門充実

【具体例】 健診部門と連動し、患者の治療と予防の連携を図る。

(2) 医療の質的向上

病院機能高度化

【具体例】 オーダエントリー機能を導入し、発生源入力を行うことで、スタッフ間の意思疎通の円滑化を図る。レポートシステムや電子カルテシステムを活用し、患者情報の共有を図り、診療（チーム医療）に役立てる。

各部門システム及び電子カルテシステムの連動により、診療進捗状況や検査結果のリアルタイムな把握を行う。

医療適正化

【具体例】 オーダチェック機能や各部門システムのチェック機能を利用して、各医療行為に対する監査を強化し、適正な医療行為や診療報酬の請求に役立てる。

電子カルテシステムを導入して診療内容の標準化を図り、診療情報を蓄積、分析し、診療行為の評価、職員の研修・研究の充実を図る。

救急医療充実

【具体例】 迅速な対応と診療チェック機能による救急診療の充実を図る。

消防システムと連携し、初期治療の判断に役立てる。

患者安全（連絡体制及び病歴管理の充実等）

【具体例】 イン트라ネットを活用し、院内の連絡体制の円滑化を図る。

オーダエントリー機能による発生源入力を実施し、転記ミスの防止、指示漏れ防止を図る。病歴等の診療情報を電子化・一元化するとともに、クリニカルパスシステムやリスクマネジメントシステムを導入し、E B M（科学的根拠に基づく医療）の推進に役立て、医療事故防止・患者安全の確保を目指す。

医薬分業推進

【具体例】 オーダエントリー機能と連動した院外処方を発行し、かかりつけ薬局において、他病院での患者に対する投薬との禁忌・重複チェックに寄与することで、副作用の完全防止等により、患者サービスの質的向上を確保する。

医療の継続性確保

【具体例】 地域医療連携システムにより、地域医療の連携を強化するとともに、病歴管理システムを導入し、サマリ管理を行い、医療の継続性を確保する。

（3）病院経営の効率化

経費削減

【具体例】 各種伝票のペーパーレス化及び電子決裁の検討、診療費請求業務の効率化、画像ファイリングシステムを導入してフィルムレス化を行い、診療画像フィルムの経費削減や保存管理等の効率化を図る。

収益向上

【具体例】 空床管理システムを導入し、空病床の有効利用に役立てる。
電子化・一元化された医療情報を経営分析・評価や業務分析に活用する。
医事会計システムを充実し、滞納金や未回収金の回収に努める。

物品管理整備

【具体例】 物品管理システムを導入して、診療報酬請求と物流を統合管理し、院内在庫コントロールによる経営コストの削減と効率化を図る。

医療機器管理システムを導入し、医療機器の中央管理を行い、有効利用と適正使用を図る。ネットワークを活用した電子商取引を検討する。

診療体制管理の向上

【具体例】 看護婦の勤務表作成に係わる時間短縮や医師の診察スケジュールなど集中して管理する。

4. 総合医療情報システムの構成

(1) システム概要

「新八尾市立病院 総合医療情報システムイメージ図」参照

(2) 各部門システム概略

<u>病歴管理部門システム</u>		
・病歴（診療録）管理	・レポート	
<u>看護部門システム</u>		
・ナースコール	・空床管理	
<u>I C U 部門システム</u>		
・I C U 支援		
<u>薬剤部門システム</u>		
・調剤支援	・注射薬支援	・医薬品情報管理
・薬歴（服薬指導）	・薬品 / 麻薬管理	・薬物血中濃度管理
・血液製剤管理		
<u>検査部門システム</u>		
・検体検査（一般・委託）	・検体ラベル発行	・病理検査
・生理機能検査	・細菌検査	・超音波検査
・内視鏡検査		
<u>輸血部門システム</u>		
・輸血（輸血液・自己血）		
<u>放射線部門システム</u>		
・放射線情報	・画像ファイリング（画像診断支援）	
<u>手術部門システム</u>		
・手術管理		
<u>リハビリ部門システム</u>		
・リハビリ実績	・スケジュール管理	
<u>医事部門システム</u>		
・医事会計	・患者受付	・予約管理
・診察情報（順番）表示	・資金 / 収支管理	
<u>栄養部門システム</u>		
・栄養管理	・栄養指導支援	
<u>健康診断部門システム</u>		
・健康診断支援		
<u>地域連携部門システム</u>		
・地域医療連携管理	・医療相談管理	
<u>物品管理部門システム</u>		
・物品管理	・医療機器管理	
<u>病院情報部門システム</u>		
・経営情報管理	・財務会計システム	・リスクマネジメント
<u>人事管理部門システム</u>		
・勤退管理	・勤務表作成	